

Ⅱ. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	福祉対策措置	士幌町立幼保連携型認定こども園運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		士幌町		
交付金事業実施場所		士幌町字士幌		
交付金事業の概要		士幌町立幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭2名分の人件費(給料7ヶ月分)。 士幌町では少子化が進行する中、3歳未満児担当保育教諭を配置し、子育て家庭が安心して子育てができる環境整備を進めるため、電源立地地域対策交付金を活用しています。		
総事業費		5,124,700	交付金充当額	4,400,000
			うち文部科学省分	
			うち経済産業省分	4,400,000
交付金事業の成果目標		現在士幌町には、公設の幼保連携型認定こども園1ヶ所、へき地保育所1ヶ所、このほか民間営の認可保育所1ヶ所並びに民間(NPO)委託によるへき地保育所2ヶ所があり、それぞれが連携を図りながら保育事業を実施しており、とりわけ公設の幼保連携型認定こども園では、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるように、年少前の子供を受け入れる「未満児保育」や通常の保育日以外に対応する「希望保育」などの実施により保育サービスの充実を図り、子育て支援体制の整備を進めてきたところです。 こうした取り組みによる支援体制の整備は、少子化が進行している本町において、子どもたちの健やかな成長はもとより、若い世代が結婚・出産・子育てに夢を持つことができ、それを実現するために不可欠なものとなっており、こうした取り組みを引き続き継続・発展させ、住民の福祉向上を図ることが目標になります。		
交付金事業の成果指標		本交付金事業によって成果目標を達成するには、3歳未満児担当保育教諭の継続的な確保や保育教諭全体の人員確保による保育サービスの充実が必要となります。本交付金の活用により、「未満児保育」については、在籍する約30人の児童に対する安全・安心な保育体制を確保し、「希望保育」については、保育教諭の確保により年間延べ約200件の受け入れを実施します。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、平成28年6～12月の7ヶ月間において、認定こども園の保育教諭2名を確保することができました。これにより、3歳未満児担当保育教諭の配置を継続させることができ、「未満児保育」(平均在籍数約30人)や「希望保育」(年間延べ件数約200件)などの充実を図ることができました。 今後も、本交付金事業の活用により、保育サービス・児童福祉の充実が図られている旨を町民や保育教諭に周知しながら、より一層の子育て支援施策の推進、住民の福祉向上を図っていく予定です。		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	保育教諭人件費	雇用	保育教諭2名	5,124,700
	計			5,124,700
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
			該当なし	